



2023年6月20日

各 位

会 社 名 A Z-COM丸和ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 和佐見 勝
(コード番号: 9090 東証プライム市場)
問合せ先 取締役専務執行役員経営管理グループ長
葛野 正直
(TEL 048-991-1000)

上場維持基準への適合に向けた計画に基づく進捗状況について

当社は、2021年12月17日に、「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」を提出し、その内容について開示しております。2023年3月31日時点における計画の進捗状況等について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準への適合状況の推移及び計画期間

当社の2023年3月31日時点における東証プライム市場の上場維持基準への適合状況はその推移を含め、下表のとおりとなっており、流通株式比率については現時点で基準を充たしておりません。当社は、2026年3月までに流通株式比率の上場維持基準を充たすため、引き続き各種取組を進めてまいります。

		株主数	流通株式数	流通株式 時価総額	流通株式比率
当社の適合状況 及びその推移	2021年6月末時点 (移行基準日)	7,424人	359,304単位	617億円	27.8%
	2023年3月末時点 (直近基準日)	6,829人	320,980単位	562億円	24.8%
上場維持基準		800人以上	20,000単位以上	100億円以上	35%以上
計画期間		—	—	—	2026年3月まで

※当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

2. 上場維持基準への適合に向けた取組の実施状況及び評価 (2021年12月～2023年3月)

流通株式比率の適合に向けて、国内外の個人投資家や機関投資家の皆様が投資しやすい環境を整えるため、コロナ禍及びアフターコロナなどの社会環境の変化に適切に対応することで業績の向上やコーポレート・ガバナンスの強化に努めてまいりました。

IR活動につきましては、「統合報告書2022」の発行や適時開示書類・有価証券報告書等の英文開示の充実、ホームページのリニューアルなど積極的にIR情報の発信に取り組みました。

また、当社株式を保有して頂いている主要株主や政策目的相互保有株主に対して、順次、上場維持基準の適合に向けた基本方針について説明し、ご理解を得るとともに、一部株式の売却等の協議を進めてまいりました。その結果、主要株主の1,250,000株(流通株式比率1.0%程度)の売却が完了していることを確認しております。一方で、流通株式数の定義変更に伴い、関係会社役員の保有株式が流通株式数から除外されたことや株式会社上組との資本業務提携などによる事業法人の所有株式が増加したことから、2023年3月期末時点において、流通株式比率につきましては、上場維持基準の適合には至っておりません。

3. 今後の課題と取組内容

当社は、中期経営計画2025において、コアとなるE C物流、低温食品物流、医薬・医療物流の各ドメインにおける顧客ニーズへの対応と、深刻化する人材及び稼働車両不足に対応し、事業拡大を支えるための人材の確保・育成、DXの推進・適用による生産性向上に注力し、持続的な成長の実現を目指しております。また、経営資源の適正配分による成長事業への集中投資と低収益事業の再生・再編による経営の効率化に取り組み経済的価値の最大化を図るとともに、ESG経営を実践し事業活動を通じた環境・社会的価値の向上に加え、BCP物流による社会インフラとしての物流ネットワークの構築を積極的に進めており、中期経営計画の初年度（2023年3月期）においては、当初計画を上回る業績で増収増益を達成いたしました。

今後も継続して収益力の強化や持続的な企業価値の向上を図り、当社が投資対象として十分な流動性とガバナンス水準であることを示すためにも、プライム市場への上場維持が必要であると考えております。したがって、流通株式比率の上場維持基準の適合に向け、注力してまいります。

引き続き、当社の主要株主や政策目的相互保有株主との売却に向けた交渉を継続するとともに、その他様々な角度から上場維持基準適合に向けた施策を検討してまいります。

以 上